



2018 年度

大学入試センター試験利用入学試験における

「地理歴史、公民」及び「理科②」の成績の取り扱いについて

本冊子では、大学入試センター試験の「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験で2科目受験した場合の成績の取り扱いについて説明しています。

☆詳しくは、各学部・学科のページでご確認ください☆

【目次】

経済学部 経済学科	2
経営学部 経営学科	7
人文学部 英語英米文学科	10
人文学部 社会学科	10

(注)法学部法学科、薬学部医療薬学科の成績利用については、受験した教科・科目を高得点上位順に選定するため、本冊子中では説明を省略しておりますのでご了承ください。

大学入試センター試験利用入試 選抜要領 (全学部学科共通)

1. 平成30年度大学入試センター試験の教科・科目のうち、本学各学部が指定する教科・科目または高得点順位上位の教科・科目の合計点(A方式の場合は個別試験の得点を含む)と出願書類との総合評価で合否を判定します。
2. 大学入試センター試験において、本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合や本学が指定する個別試験を欠席した場合は、合否判定の対象外となります。

経済学部 経済学科

大学入試センター試験利用入学試験 (前期日程B方式)

学部・学科	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
経済学部 経済学科	外国語	『英語』※リスニングを含む 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	高得点上位 2教科	200点 (英語は250点を200点に換算)	400点
	国語	『国語』		200点	
	地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』※1		200点に換算	
	公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理,政治・経済』※1			
	数学	① 『数学I』『数学I・数学A』			
		② 『数学II』『数学II・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』			
	理科	① 『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』※3			
② 『物理』『化学』『生物』『地学』※1					

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。ただし、第1解答科目が高得点順位で合否判定対象科目となったときは、同時枠の第2解答科目を、次の高得点順位選定の対象に加えます。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

上記※1について、第2解答科目が対象にならない場合となる場合の得点パターンを以下より例示します。



● 同時枠の第2解答科目が対象にならない例

その1

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	125	
国語	国語	
200	120	
地理歴史	世界史B	
200	130	
公民		政治・経済
200		110
数学①	数学I	
200	80	
数学②	数学II	
200	75	
理科②	生物	物理
200	70	145

合否判定教科・科目			
順位	教科	得点	科目
1	地理歴史	130	世界史B
2	外国語	125	英語
	合計	255	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」が第1解答科目中1位なので、『地理歴史』が高得点順位1位の教科となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時枠の「政治・経済」が高得点順位2位の選考対象に加わるが、「政治・経済」を加えた第1解答科目の中では「英語」が高得点順位2位となる。従って『外国語』が高得点順位2位の教科となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。

その2

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	135	
国語	国語	
200	120	
地理歴史	世界史B	日本史B
200	130	140
公民		
200		
数学①	数学I	
200	80	
数学②	数学II	
200	75	
理科②	生物	物理
200	70	145

合否判定教科・科目			
順位	教科	得点	科目
1	外国語	135	英語
2	地理歴史	130	世界史B
	合計	265	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「英語」が第1解答科目中1位なので、『外国語』が高得点順位1位の教科となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目中次順となるので、『地理歴史』が2位の教科となる。
- ③これで上位2教科が確定したので、次の高得点順位選定は行わない。従って「日本史B」は合否判定対象科目に加わることはない。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。

●同時枠の第2解答科目が対象になる例

『地理歴史』と『公民』を受験している場合

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 125	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	
公民 200		政治・経済 140
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目			
順位	教科	得点	科目
1	地理歴史	130	世界史B
2	公民	140	政治・経済
	合計	270	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」が第1解答科目中1位なので、『地理歴史』が高得点順位1位の教科となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目中1位で合否判定対象科目となるため、同時枠の「政治・経済」が高得点順位2位の選考対象となり、他の第1解答科目より高得点のため、『公民』が高得点順位2位の教科となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。

『地理歴史』を2科目受験している場合(『公民』を2科目受験している場合も同様に選定)

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 125	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目			
順位	教科	得点	科目
1	地理歴史	140	日本史B
2	外国語	125	英語
	合計	265	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」が第1解答科目中1位なので、『地理歴史』が高得点順位1位の教科となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目中1位で合否判定対象科目となるため、同時枠の「日本史B」が高得点順位選定の対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。ただし、「世界史B」と「日本史B」は同一教科なので、教科『地理歴史』としては「日本史B」の成績となる。
- ③英語が第1解答科目中次順となるので、『外国語』が高得点順位2位の教科となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。

●第1解答科目の高得点科目で、同点が2科目以上ある例

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 130	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目			
順位	教科	得点	科目
1	地理歴史	130	世界史B
2	外国語	130	英語
	合計	260	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」と「英語」が第1解答科目中1位なので、『地理歴史』と『外国語』が高得点順位同点1位の教科となる。
- ②これで上位2教科が確定したので、次の高得点順位選定は行われず。従って「日本史B」は合否判定対象科目に加わることはない。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。

大学入試センター試験利用入学試験（後期日程B方式）

☆[地理歴史・公民型]の合否判定教科・科目選定の例

学部・学科・方式	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点	
経済学部 経済学科 (地理歴史・公民型)	地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』 ※2	必須 1科目	200点に換算	400点	
	公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理, 政治・経済』 ※2				
	外国語	『英語』※リスニングを含まない 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	高得点上位 1科目	200点		
	国語	『国語』		200点		
	数学	①		『数学 I』『数学 I・数学 A』		200点に換算
		②		『数学 II』『数学 II・数学 B』『簿記・会計』『情報関係基礎』		
理科	①	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 ※3				
	②	『物理』『化学』『生物』『地学』 ※1				

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

※2：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。ただし、「地理歴史」「公民」の第1解答科目の成績が全ての第1解答科目中の高得点順位で1位である場合に限り、「地理歴史」および「公民」の第2解答科目を、高得点順位選定の対象に加えます。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

上記※2について、第2解答科目が対象にならない場合となる場合の得点パターンを以下より例示します。



●同時枠の第2解答科目が対象にならない例

教科	科目		合否判定教科・科目 順位 科目 得点	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 125		必 世界史B 110 1 英語 125 合計 235	①必須教科科目『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目の「世界史B」が合否判定対象科目となる。 ②必須教科科目を含む第1解答科目の中で高得点順位1位の「英語」が合否判定対象科目となる。 ③「世界史B」は第1解答科目の中で高得点順位1位ではないので、「政治・経済」は高得点順位選定の対象に加わらない。 ※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
国語 200	国語 120			
地理歴史 200	世界史B 110			
公民 200		政治・経済 140		
数学① 200	数学 I 80			
数学② 200	数学 II 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

●同時枠の第2解答科目が対象になる例

『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目が、他の全ての第1解答科目中の高得点順位1位の場合

教科	科目		合否判定教科・科目	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 125		順位 科目 得点 必 世界史B 130	①必須教科科目『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目の「世界史B」が合否判定対象科目となる。 ②「世界史B」が第1解答科目中1位なので、「政治・経済」が高得点順位選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。 ※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
国語 200	国語 120		1 政治・経済 140	
地理歴史 200	世界史B 130		合計 270	
公民 200		政治・経済 140		
数学① 200	数学Ⅰ 80			
数学② 200	数学Ⅱ 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

『地理歴史』を2科目受験している場合(『公民』を2科目受験している場合も同様に選定)

教科	科目		合否判定教科・科目	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 125		順位 科目 得点 必 世界史B 130	①必須教科科目『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目の「世界史B」が合否判定対象科目となる。 ②「世界史B」が第1解答科目中1位なので、「日本史B」が高得点順位選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。 ※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
国語 200	国語 120		1 日本史B 140	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140	合計 270	
公民 200				
数学① 200	数学Ⅰ 80			
数学② 200	数学Ⅱ 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

●『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目と同点高得点第1位の第1解答科目がある例

教科	科目		合否判定教科・科目	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 130		順位 科目 得点 必 世界史B 130	①必須教科科目『地理歴史』及び『公民』の第1解答科目の「世界史B」が合否判定対象科目となる。 ②「世界史B」が第1解答科目中1位なので、「日本史B」が高得点順位選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。 ※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
国語 200	国語 120		1 日本史B 140	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140	合計 270	
公民 200				
数学① 200	数学Ⅰ 80			
数学② 200	数学Ⅱ 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

大学入試センター試験利用入学試験（後期日程B方式）

☆[数学型]の合否判定教科・科目選定の例

学部・学科・方式	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
経済学部 経済学科 (数学型)	数学	① 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」※4	必須 1科目	300点に換算	500点
		② 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」※4			
	外国語	『英語』※リスニングを含まない	高得点上位 1科目	200点	
	国語	『国語』		200点	
	理科	① 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」※3		200点に換算	
		② 「物理」「化学」「生物」「地学」※1			

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

※4：数学①と数学②の2科目を受験している場合は、得点の高い科目を必須科目として300点に換算し、もう一つの科目を200点に換算して高得点順位選定の対象に加えます。

上記※4について、**数学①及び数学②が対象にならない場合となる場合の得点パターンを以下より例示します。**



●『数学①』『数学②』も同様が高得点順位の対象にならない例

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	130	
国語	国語	
200	120	
数学①	数学Ⅰ	
300(200)	120(80)	
数学②	数学Ⅱ	
300(200)	180(120)	
理科②	生物	物理
	200	70

合否判定教科・科目

順位	科目	得点
必	数学Ⅱ	180
1	英語	130
	合計	310

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ① 必須教科科目『数学①』及び『数学②』の高得点順位上位の「数学Ⅱ」が合否判定対象科目となる。ただし、必須科目として300点満点に換算する。
- ② 「外国語」が第1解答科目中1位なので、高得点順位選定対象に加わり、合否判定対象科目となる。

※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。

●『数学①』『数学②』も同様が高得点順位の対象になる例

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	130	
国語	国語	
200	120	
数学①	数学Ⅰ	
300(200)	210(140)	
数学②	数学Ⅱ	
300(200)	240(160)	
理科②	生物	物理
	200	70

合否判定教科・科目

順位	科目	得点
必	数学Ⅱ	240
1	数学Ⅰ	140
	合計	380

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ① 必須教科科目『数学①』及び『数学②』のうち高得点順位上位の「数学Ⅱ」が合否判定対象科目となり、必須科目として300点満点に換算する。
- ② 「数学①」が第1解答科目中1位なので、高得点順位選定対象に加わり、合否判定対象科目となる。ただし、『数学②』が必須科目として300点満点として換算されているため、『数学①』は200点満点として換算する。

※「物理」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。

大学入試センター試験利用入学試験 (前期日程B方式)

学部・学科	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
経営学部 経営学科	外国語	【英語】※リスニングを含む 【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】	高得点上位 3科目	200点 (英語は250点を200点に換算)	600点
	国語	【国語】		200点	
	地理歴史	【世界史A】【世界史B】【日本史A】【日本史B】【地理A】【地理B】※1			
	公民	【現代社会】【倫理】【政治・経済】【倫理、政治・経済】※1			
	数学	①		【数学I】【数学I・数学A】	
		②		【数学II】【数学II・数学B】【簿記・会計】【情報関係基礎】	
	理科	①		【物理基礎】【化学基礎】【生物基礎】【地学基礎】※3	
②		【物理】【化学】【生物】【地学】※1			

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。ただし、第1解答科目が高得点順位で合否判定対象科目となったときは、同時枠の第2解答科目を、次の高得点順位選定の対象に加えます。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

上記※1について、**第2解答科目が対象にならない場合となる場合の得点パターンを以下より例示します。**



● 同時枠の第2解答科目が対象にならない例

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	135	
国語	国語	
200	140	
地理歴史	世界史B	日本史B
200	130	140
公民		
200		
数学①	数学I	
200	150	
数学②	数学II	
200	75	
理科②	生物	物理
200	70	145

合否判定教科・科目		
順位	科目	得点
1	数学 I	150
2	国語	140
3	英語	135
	合計	425

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「数学 I」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
- ②「国語」が第1解答科目中の高得点順位2位なので、合否判定対象科目となる。
- ③「英語」が第1解答科目中の高得点順位3位なので、合否判定対象科目となる。
- ④ここで高得点順位上位3科目までが確定するため、次の高得点順位科目選定は行われない。

※「日本史B」及び「物理」は第1解答科目の「世界史B」及び「生物」が高得点順位1位または2位の合否判定対象科目ではないので、選定の対象にならない。

● 同時枠の第2解答科目が対象になる例

『地理歴史』と『公民』を受験している場合

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語	英語	
200	125	
国語	国語	
200	120	
地理歴史	世界史B	
200	130	
公民		政治・経済
200		140
数学①	数学I	
200	80	
数学②	数学II	
200	75	
理科②	生物	物理
200	70	145

合否判定教科・科目		
順位	科目	得点
1	世界史B	130
2	政治・経済	140
3	英語	125
	合計	395

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時枠の「政治・経済」が高得点順位2位の選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。
- ③残りの選定対象科目のうち最高得点の「英語」が、高得点順位3位の科目として、合否判定対象科目となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位合否判定対象科目とならないので、選定の対象にならない。

『地理歴史』を2科目受験している場合(『公民』を2科目受験している場合も同様に選定)

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 125	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目

順位	科目	得点
1	世界史B	130
2	日本史B	140
3	英語	125
	合計	395

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時間枠の「日本史B」が高得点順位2位の選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。
- ③残りの選定対象科目のうち最高得点の「英語」が、高得点順位3位の科目として、合否判定対象科目となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位合否判定対象科目とならないので、選定の対象にならない。

●第1解答科目の高得点科目で、同点が2科目以上ある例

第1解答科目の2科目が高得点同点1位の場合

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 130	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目

順位	科目	得点
1	世界史B	130
1	英語	130
3	日本史B	140
	合計	400

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「世界史B」と「英語」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
- ②「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時間枠の「日本史B」が高得点順位3位の選定対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため、合否判定対象科目となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位合否判定対象科目とならないので、選定の対象にならない。

第1解答科目のうち2科目が高得点同点2位の場合

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 70	
国語 200	国語 130	
地理歴史 200	世界史B 125	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 125	物理 145

合否判定教科・科目

順位	科目	得点
1	国語	130
2	世界史B	125
2	生物	125
	合計	380

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ①「国語」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
- ②「世界史B」と「生物」が第1解答科目中の高得点順位2位なので、合否判定対象科目となる。

※ここで高得点順位上位3科目までが確定するため、次の高得点順位科目選定は行われない。従って「日本史B」及び「物理」は、選定の対象にならない。

大学入試センター試験利用入学試験（後期日程B方式）

学部・学科・方式	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
経営学部 経営学科	外国語	【英語】※リスニングを含む ※5	必須 1科目	200点 (英語は250点を200点に換算)	400点
	国語	【国語】 ※5		200点	
	地理歴史	【世界史A】 【世界史B】 【日本史A】 【日本史B】 【地理A】 【地理B】 ※1	高得点上位 1科目	200点に換算	
	公民	【現代社会】 【倫理】 【政治・経済】 【倫理・政治・経済】 ※1			
	数学	① 【数学I】 【数学I・数学A】			
		② 【数学II】 【数学II・数学B】 【簿記・会計】 【情報関係基礎】			
	理科	① 【物理基礎】 【化学基礎】 【生物基礎】 【地学基礎】 ※3			
② 【物理】 【化学】 【生物】 【地学】 ※1					

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

※5：【英語】と【国語】の2科目を受験している場合は、得点の高い科目を必須科目とし、もう一つの科目を高得点順位選定の対象に加えます。

●『国語』（『外国語』も同様）が高得点順位の対象にならない例

教科	科目		合否判定教科・科目	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 125		順位 科目 得点 必 英語 125 1 世界史B 130 合計 255	①必須教科科目「英語」及び「国語」の高得点順位上位の「英語」が合否判定対象科目となる。 ②「世界史B」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
国語 200	国語 120			
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140		※「物理」及び「日本史B」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
公民 200				
数学① 200	数学I 80			
数学② 200	数学II 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

●『国語』（『外国語』も同様）が高得点順位の対象になる例

教科	科目		合否判定教科・科目	合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答		
外国語 200	英語 150		順位 科目 得点 必 英語 150 1 国語 140 合計 290	①必須教科科目「英語」及び「国語」の高得点順位上位の「英語」が合否判定対象科目となる。 ②「国語」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、合否判定対象科目となる。
国語 200	国語 140			
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140		※「物理」及び「日本史B」は第1解答科目ではないので、選定の対象にならない。
公民 200				
数学① 200	数学I 80			
数学② 200	数学II 75			
理科② 200	生物 70	物理 145		

大学入試センター試験利用入学試験 (前期日程B方式)

「英語(リスニング含む)」及び「国語」を必須科目とし、残り『理科』を除く高得点上位1科目の合計点にて判定する。その際、『地理歴史』及び『公民』については、第1解答科目のみ利用する。

学部・学科	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
人文学部 英語英米文学科	外国語	【英語】※リスニングを含む	必須	400点に換算 (英語は250点を200点に換算)	700点
	国語	【国語】	必須	200点	
	地理歴史	【世界史A】【世界史B】【日本史A】【日本史B】【地理A】【地理B】※2	高得点上位 1科目	100点	
	公民	【現代社会】【倫理】【政治・経済】【倫理、政治・経済】※2			
	数学	①【数学I】【数学I・数学A】			
	②【数学II】【数学II・数学B】【簿記・会計】【情報関係基礎】				

※2：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

大学入試センター試験利用入学試験 (前期日程B方式)

学部・学科	教科	科目	選定条件	本学の配点 (換算後の配点)	総合点
人文学部 社会学科	外国語	【英語】※リスニングを含む	必須	200点 (英語は250点を200点に換算)	600点
	国語	【国語】	高得点上位 2教科	200点	
	地理歴史	【世界史A】【世界史B】【日本史A】【日本史B】【地理A】【地理B】※1		200点に換算	
	公民	【現代社会】【倫理】【政治・経済】【倫理、政治・経済】※1			
	数学	①【数学I】【数学I・数学A】	200点に換算		
		②【数学II】【数学II・数学B】【簿記・会計】【情報関係基礎】			
	理科	①【物理基礎】【化学基礎】【生物基礎】【地学基礎】※3	200点に換算		
	②【物理】【化学】【生物】【地学】※1				

※1：2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。ただし、第1解答科目が高得点順位で合否判定対象科目となったときは、同時間枠の第2解答科目を、次の高得点順位選定の対象に加えます。

※3：理科①の基礎を付した科目は、選択した2科目の合計点を1科目として扱います。

上記※1について、第2解答科目が対象にならない場合となる場合の得点パターンを以下より例示します。

●同時時間枠の第2解答科目が対象にならない例

教科	科目		合否判定教科・科目		合否判定対象教科・科目の選定手順
	第1解答	第2解答	順位	教科 得点 科目	
外国語	英語		必	外国語 140 英語	①必須教科科目「英語」が合否判定対象科目となる。 ②「国語」が第1解答科目中の高点順位1位なので、『国語』が高得点順位1位の教科となる。 ③「世界史B」が第1解答科目中次順位となるので、『地理歴史』が高得点順位2位の教科となる。 ④これで上位2教科が確定したので、次の高得点順位選定は行われない。従って「日本史B」は合否判定対象科目に加わることはない。 ※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。
200	140		1	国語 135 国語	
国語	国語		2	地理歴史 130 世界史B	
200	135		合計	405	
地理歴史	世界史B	日本史B			
200	130	135			
公民					
200					
数学①	数学I				
200	80				
数学②	数学II				
200	75				
理科②	生物	物理			
200	70	145			

● 同時間枠の第2解答科目が対象になる例

『地理歴史』と『公民』を受験している場合

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 160	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	
公民 200		政治・経済 140
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目

順位	教科	得点	科目
必	外国語	160	英語
1	地理歴史	130	世界史B
2	公民	140	政治・経済
	合計	430	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ① 必須教科科目「英語」が合否判定対象科目となる。
- ② 「世界史B」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、『地理歴史』が高得点順位1位の教科となる。
- ③ 「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時間枠の「政治・経済」が高得点順位選定の対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため合否判定対象科目となる。従って『公民』が高得点順位2位の教科となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位合否判定対象科目とならないので、選定の対象にならない。

『地理歴史』を2科目受験している場合(『公民』を2科目受験している場合も同様に選定)

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 160	
国語 200	国語 120	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 140
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目

順位	教科	得点	科目
必	外国語	160	英語
1	地理歴史	140	日本史B
2	国語	120	国語
	合計	420	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ① 必須教科科目「英語」が合否判定対象科目となる。
- ② 「世界史B」が第1解答科目中の高得点順位1位なので、『地理歴史』が高得点順位1位の教科となる。
- ③ 「世界史B」が第1解答科目1位で合否判定対象科目となるため、同時間枠の「日本史B」が高得点順位選定の対象に加わり、対象科目の中で得点が最高位となるため合否判定対象科目となる。
ただし、「世界史B」と「日本史B」は同一教科なので、教科『地理歴史』としては「日本史B」の成績となる。
- ④ 「国語」が第1解答科目中次順となるので、『国語』が高得点順位2位の教科となる。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位合否判定対象科目とならないので、選定の対象にならない。

● 第1解答科目の高得点科目で、同点が2科目以上ある例

教科	科目	
	第1解答	第2解答
外国語 200	英語 140	
国語 200	国語 130	
地理歴史 200	世界史B 130	日本史B 135
公民 200		
数学① 200	数学Ⅰ 80	
数学② 200	数学Ⅱ 75	
理科② 200	生物 70	物理 145

合否判定教科・科目

順位	教科	得点	科目
必	外国語	140	英語
1	地理歴史	130	世界史B
1	国語	130	国語
	合計	400	

合否判定対象教科・科目の選定手順

- ① 必須教科科目「英語」が合否判定対象科目となる。
- ② 「世界史B」と「国語」が第1解答科目中1位なので、『地理歴史』と『国語』が高得点順位同点1位の教科となる。
- ③ これで上位2教科が確定したので、次の高得点順位選定は行われぬ。従って「日本史B」は合否判定対象科目に加わることはない。

※「物理」は第1解答科目の「生物」が高得点順位1位ではないので、選定の対象にならない。